

3.1. 後半要点

日ノ出町駅あるいは黄金町駅から南太田駅(8.4km・7.0km)までを後半とします。但し「36. 永田の寶林寺」「37. 井戸ヶ谷尼将軍堂と化粧の井戸」は別案内に含めます。

「34D. 獅子頭共用栓」から南太田駅に直行すると、1.4kmの短縮になります。

「33. 久保山の官修墓地」は歴史を色濃く漂わせます。清水ヶ丘の「ゆずの木」と云われるエノキ、「34B. 大原隧道」は新しい名勝と云えます

3.2. 後半案内

案内3. 後半起点が黄金町駅の場合

「290. 切通と霞橋」へ

案内4. 後半起点が日ノ出町駅の場合

27. 太田の陣屋跡

日ノ出町駅一帯だが何も残らない。開港に先立ち、付近の警備に当たる福井藩が築いた。往時は太田村の東端に位置したので太田陣屋。その後、松代藩、神奈川奉行所に管理が移る

27A. 天神坂碑

吉田新田埋立の土砂の採集地。往時は太田村字天神山

28. 震災記念館

関東大震災記念。一時は現横浜市立図書館敷地にあったが何も残らない

29. 野毛山公園・散策地区

公園は三区画に分割される。散策地区は桜の名所。

29A. 車寄せ

別荘地帯の名残だろう

29B. 軍陣病院・十全病院跡

現横浜市立老松中学校敷地にあった。

軍陣病院は日本初の公立外科病院とされる。十全病院は横浜市大病院の前身。



29C. ラジオ塔

右上方の燈籠型の塔、

29D. 中村汀女句碑

汀女は、大蔵官僚(税務)の夫の転勤で西区西戸部町の官舎にも住んだ。

29E. 石垣

左右の石積は別荘地の名残か、老松中学校の校庭が見える

29F. 佐久間象山顕彰碑

江戸時代後期の松代藩士で兵学者・朱子学者・思想家。ペリー来航時、横浜応接所の警護をを命じられる。横浜開港を熱望した

29. 野毛山公園・動物園地区

入場無料。別の機会にゆっくり楽しみたい

29G. 野毛の吊橋

一市民が市民集会で要望して実現。動物園と往時の遊園地を安全に結んだ

29. 野毛山公園・展望地区

かつては観覧車・飛行塔などのあった遊園地

29H. 旧野毛配水池

役目を終えている。現在、配水池は西側の広場地下に移った

29I. H.S. パーマー胸像

横浜に日本初の近代水道を創設した

29J. シドモア桜とハナミズキ

1884年来日目のE.R. シドモアは桜に魅了され、3000本の苗木をワシントン・ポトマック河畔への移植に尽力。寄贈100周年を記念して里帰りした。ハ

ナミズキは桜寄贈の返礼

29K. 1964年東京オリンピック開催記念碑

横浜はバレーボール、サッカーの競技会場になった

29L. 展望台

正面の山手台地との間に広がる平地はほぼ吉田新田と云って良い。関内・関外、南郊まで視界が広がる

29M. 旧国体プール跡

展望台南側の空き地。1949年夏季国体を機に設立された公認プールだった

29N. 東福寺

町名になっている赤門は、かつて二層の立派なもの。正面に閻魔堂



案内3: 黄金町駅

東福寺正面のバス通りで左折する

290. 切通と霞橋

バス通りを右折、坂を上る。どちら側の歩道でも、震災復興橋・霞橋を潜った先の階段で橋上に出て右に進む

29P. 寺町

坂上で尾根道と交差。信号有交差点を右折。

明治初期、野毛の大聖院・林光寺・常清寺清正公の移転が契機だろう

35. 太田古墳の碑

光明寺内、道路沿いの塀の内側に碑が並ぶ。古墳の碑は本堂右前の小堂裏。

なお古墳の位置は特定できていない

33. 久保山の官修墓地

薩摩藩・西南の役・長州藩の墓地がある。北向の崖途中まで下る。図参照
拝観後は尾根道に戻る

34. 震災横死者合葬場

管理事務所先の小公園に入ると、円墳への参道、左側に朝鮮人慰霊之碑

34A. 東隧道

尾根道を五差路まで進んで左折、道路右を進み、すぐに鋭角に右折

34B. 大原隧道

元の道に戻りさらに坂を下る。会館前バス停先を右折

34D. 獅子頭共用栓

隧道を抜けて高架下左側

34E. 清水ヶ丘公園

高架手前右の階段を上ると公園に突き当たる。左手の小丘が見晴らしの丘、ゆずの木がある。

斜めに下ると鎌倉道上道

38. 井土ヶ谷仏人遭難の旧蹟

外国人殺傷事件の一つ。慰霊碑、庚申塚の脇に事件案内

38A. 横濱水天宮・太田杉山神社

杉山神社は旧太田村の総鎮守、相殿神の水天宮は吉田新田の水書守護神

38B. 常照寺

太田の鬼子母神、桜の名所。本堂裏の丘は関外・関内・根岸方面の眺望秀逸

◎ 南太田駅

4. 引用

- 「横浜の史跡と名勝」
横浜郷土史研究会 1928年
- 「ものがたり西区の今昔」
西区の今昔・編集委員会 1973
- 「日本地理大系第4巻関東編」
改造社 1930
- 「横浜市史稿・地理編」
横浜市役所 1985
- 「文明開化期の横浜・東京」
横浜開港資料館 2007
- 「グラフィック西」
西区郷土史研究会 1981年

